

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートりま		
○保護者評価実施期間	令和8年2月20日		～ 令和8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	3 (内1名は新規契約者の為配布なし)
○従業者評価実施期間	令和8年2月20日		～ 令和8年3月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14 (回答者数)	14
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	手厚い支援・サポートが可能、 児のことを十分に理解し、児の特性等に応じた専門性のある支援が受けられている。 確保出来る日には児一人に対して複数人のスタッフが必ず付き、安全且つ安心した一人一人に寄り添った対応が可能。	メインで対応するスタッフを中心に本人の個性を理解し対応しております。 危ない場所へは立ち入らないよう対応や観察、医療機器の多い児に対して安全な場所の配慮など、安心・安全な対応が出来るように環境調整や人員配置を心がけております。	引き続き、児の発達・年齢に合わせた専門性のある活動をお届けできるようにスタッフ間での話し合い・共有を行って行きたい。 また、目標やねらいを明確にした活動を行い、達成感や幸福感を増やして行きたい。
2	保護者様に満足度が高い声を頂いている。 その児の難易度に合わせた制作づくりや季節に合わせた活動を取り入れている。	各専門のスタッフが知識を持ち寄り、児に合わせた難易度での活動を工夫してお届けしています。 児が好きな音楽、遊びを理解し、一緒に楽しむことで楽しさの共有を行える。各スタッフが児の理解を深めていることで丁寧な対応が行える為、保護者からの相談や共有を適宜行うことができる。	本年度よりスタッフが増えたことで安全かつ丁寧な対応が可能になって来ている。 成長に見合った経験を積み重ねることができるよう、看護師、保育士、リハビリ職員での支援計画を適宜立てていきます。 楽しく本人に合わせて成長できる支援を行っていきます。
3	保護者からの悩みや相談事を積極的に取り入れ、多様な職種の見解を取り入れ、より良い環境づくりを心がけております。 いつでも相談して頂けるような体制を取り対応している。	保護者とのコミュニケーションが円滑に進み支援に反映できるよう、送迎時の申し送り、連絡帳の活用他、電話やメールで気軽に連絡が取れるようにしています。	LINEやWEB連絡帳を取り入れこどもの様子をより詳細に伝える、保護者からの要望等をより早期に対応、職員間での共有をより早くしていくことを検討しています。 現在はLINEとメール・電話での対応が分散している為、統一した方法を模索中。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	当施設は運営を安定して行う段階にあるために、現時点では保護者会等の支援を検討、実行できていません。 また、保護者様との都合を合わせる事が现阶段では難しく、新しい事業を行う為にはまず理解を深める必要があります。	今までの運営では父母の会等の活動がない為、保護者様の意見を取り入れながら交流の機会を検討していきます。
2	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	保護者様とスタッフの交流時間を設けるのが難しい現状です。 日中は保護者様の時間が取りずらく、児の利用がある日が多い為、場所の確保と時間調整が難しい。	研修や交流の場を希望しているかどうかをアンケート調査した上で希望者に向けた小規模な場を検討。 研修の機会を設けられるよう準備していきます。
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	医療的ケア児、重症心身障害児は感染症に特に注意する必要があるため、交流方法や保護者の意向確認が必要であるため多くの人が行き交う場所への利用は行っていません。 また、車の乗車人数が少数の為移動には限りが出てしまう。	医療的ケア児は機械の扱いの慎重さと感染症に注意する必要があるため、多数の児童との関わりは慎重に行っていこうと考えております。イベントや屋内施設の利用は検討中です。 日にち毎に交流する児を決めて移動支援を実施したり、交流の場へ出向いたりする方法を模索中です。